放射線研究クラスター

-放射線の作用並びにラジカルの反応機構解明から放射線検出材・耐性剤・防護剤・増感剤の開発まで-

追見 γ線の持つ物理化学的特性と、近年発展の著しい再生医療・医歯工学・薬化学および農芸化学の分野を融合することで、 新領域の開拓が大いに期待できるが、中四国には放射線と生命化学分野の研究を1箇所で統合的に実施できる施設がない

目的: 四国の国私立大学および地方のステークホルダーとの連携による新たな放射線・放射性同位元素を用いた産業の創出、 および研究支援を通じた放射線研究者の養成を行う。

徳島大学を拠点とした

v線照射・分析装置,動物実験施設の拡充と研





増感剤 防御研防護剤 グルー

ナノ領域の反応解析

機構解明

検証・評価系の創出

生物モデルの作成

放射線

成果 還元



画期的新薬・新治療・診断法の開発



成果:新たな放射線·放射性同位元素利用により、放射生命化学研究の進展と 人材養成、地域産業の発展に貢献できる